平成 29 年度　事業報告書

（平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで）

（1）ジェンダー問題に関する研究・調査

第 1 期プロジェクト研究（平成 24～28 年度：成果として『資料集　名古屋における共同保育所運動 1960 年代～1970 年代を中心に』を出版）に続く第 2 期のプロジェクト研究の準備をすすめ、準備会を 2 回開催し、研究テーマ等を決定した。

・　テーマ　　「ジェンダー研究が拓く知の地平」

・　内　容　　人文・社会・自然にわたる多様な研究分野の研究者を集め、それぞれの専門分野における「ジェンダー問題とは何か」を議論する研究会を行うことをめざす。

・　すすめ方　「呼びかけ文」（趣意書）と「呼びかけ対象」を検討・決定し、若手研究者（研究歴が短い）を中心に呼びかけることとした。

（2）ジェンダー問題に関する研究への助成

① 個人研究助成

若手研究者を対象に、男女共同参画社会の形成に資する研究テーマを公募し、選考の上助成した。

・募集期間　　平成 29 年 4 月 15 日～5 月 31 日

・応募総数　　22 名

・審査委員会

第 1 次選考　　平成 29 年 6 月 27 日　14：00～17：30　当研究所にて選考会議

第 2 次選考　　平成 29 年 6 月 27 日　17：30～18：00　当研究所にて選考会議

・受託者（6 名）

＊　本山　央子（モトヤマ　ヒサコ）

（お茶の水女子大学　人間文化創成科学研究科ジェンダー学際専攻博士課程）

＜テーマ＞　在日米軍による性暴力の実態および刑事司法処理に関する調査

＊　加野　泉（カノ　イズミ）

（名古屋大学大学院人文学研究科　博士候補研究員）

＜テーマ＞　子育てにおけるジェンダー役割の再構築

―アメリカ「ヘッドスタート」の家族規範の検討をもとに―

＊　Turmunkh　Odontuya（トゥルムンフ・オドントヤ）

（独立研究者　モンゴル JICA　通訳・翻訳者）

＜テーマ＞　ポスト社会主義モンゴルにおける「理想女性」のイメージ

―婦人誌「Mongoljingoo」誌に掲載された写真や記事を分析して―

＊　水澤　純人（ミズサワ　スミト）

（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科　特任研究員）

＜テーマ＞　現代パキスタンの市民社会とジェンダー

―イスラーム団体の言説の検証を中心に―

＊　柴田　里彩（シバタ　リサ）

（九州大学大学院　人間環境学府教育システム専攻　教育法制論研究室　修士課程２年）

＜テーマ＞　戦後における公立女子高校の成立過程に関する考察
―地域の特性に応じた女子教育という視点から―

＊　目黒　茜（メグロ　アカネ）

（筑波大学人文社会科学研究科　国際公共政策専攻　博士前期課程２年）

＜テーマ＞　「産む身体」の歴史社会学考察
－1920～1930 年代の医療的啓蒙言説に注目して－

・助成金額　　計　１,７００,０００円（30 万円＊5 人、20 万円＊1 人））

② 団体研究助成

ジェンダー問題を研究している団体の研究計画を公募し、選考の上助成した。

・募集期間　　平成 29 年 4 月 15 日～5 月 31 日

・応募総数　　2 件

・審査委員会

平成 29 年 6 月 27 日　13：30～14：00　　当研究所にて選考会議

・受託団体　　１件

＊　リプロダクティブ・ライツについて考える会

＜テーマ＞ 妊娠相談制度の法的整備に関する研究
―女性のリプロダクティブ・ライツの観点から―

・助成金額　　２０万円

（3）ジェンダー問題に関するシンポジウム、フォーラム等の開催

ジェンダー問題に対する理解・意識の普及や啓発のため講演会・報告会等を開催した。

①　設立 20 周年記念国際講演会

平成 9 年の財団法人設立（平成 24 年公益財団法人移行）から 20 周年となるのを記念して、著名なフェミニズム研究者である外国人講師を招聘して開催した。

・テーマ　　「アメリカにおける女性・フェミニズム・ジェンダー研究―40 年の研究生活をふりかえって―」

・講　師　　エステル・フリードマン教授（スタンフォード大学）

・日　時　　平成 29 年 10 月 21 日（土）14：30～17：００

・会　場　　ANA クラウンプラザホテルグランコート名古屋　ローズルーム I

・参加費　　無料

・参加者　　108 名（定員 80 名）

＊　講演会終了後、「20 周年記念の会」を 17:30~18:45、ホテルグランコート名古屋のローズルームⅡにおいて講演会講師、20 年間の関係者、賛助会員など 63 名の参加で開催し、交流した。

② ランチセッション

国際講演会講師を囲んで講演会とは別のテーマで、少人数のセッションを開催し、参加者と意見交換した。

・テーマ　　「トランプ政権下でフェミニストとして生きる」

・ 講　師　エステル・フリードマン教授（アメリカ・スタンフォード大学）
・ 日　時　平成 29 年 10 月 23 日（月）11：00～14：30
・ 会　場　東海ジェンダー研究所　セミナー室
・ 参加費　無料
・ 参加者　28 名（定員 24 名）
＊ ランチセッションの内容は、年報『ジェンダー研究』20 号（平成 30 年 2 月 28 日発行）に掲載した。

③ 個人助成受託者報告会

前年度の個人研究助成受託者が、研究成果を中間発表するための報告会を開催した。

・日　時　平成 29 年 7 月 8 日（土）12：20～16：20
・会　場　東海ジェンダー研究所　セミナー室
・報告者　西山　真司さん（名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリ研究員）
「政治的な経験における「女性であること」の構成」
江口　佳子さん（常葉大学外国語学部グローバル・コミュニケーション学科専任講師）
「ブラジル軍事政権下の女性作家による女性の自己表出」
久島　桃代さん（お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所特別研究員）
「農村に移住する女性たちと地域社会―ジェンダーの視点から」
佐藤　美和さん（お茶の水女子大学基幹研究院研究員）
「日本における同性カップルに対する権利保障の法制化に向けた現状と課題：自治体による同性パートナーシップ施策の調査を通して」
・参加費　無料
・参加者　19 名（定員 24 名）
＊ 終了後、報告者を交えて交流会（参加者 14 名）を開催した。

④ 講座

ジェンダー問題に関する講座は実施しなかった。

⑤ 賛助会員のつどい

賛助会員の交流を図り、幅広い分野におけるジェンダー問題への理解を深めるため、毎年公開して行っている。今年度は名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリ（GRL）の開館に伴い、女性図書館のあり方を考える機会とした。

・テーマ　「対話と議論をめざす女性図書館」
－Collection・Connection　Development－
・講　師　青木　玲子さん（国立女性教育会館客員研究員）
・日　時　平成 30 年 1 月 27 日（土）13：15～16：00
・会　場　GRL　2F　レクチャールーム
・参加費　無料
・参加者　80 名（定員 60 名）
＊ 賛助会員数　186 名（平成 29 年度末現在）
＊ この事業は、GRL の協賛で実施した。

（4）年報及びニューズレター等の発行（広報・出版活動）

① 20 周年記念誌の発行

財団法人設立から 20 周年になるのを記念して、設立の経緯や 20 年間のあゆみ等をまとめ今後の指針とするため、「20 周年記念誌」を発行した。

・発行月　　3 月
・発行部数　　1,000 部
・掲載内容
　20 年のあゆみ（主な出来事、座談会、インタビュー）
　20 年のあしあと
　これからの東海ジェンダー研究所へ
　資料編

② 年報『ジェンダー研究』第 20 号の発行

巻頭論文「著書を語る」、公募論文、特別寄稿のほか、当研究所の平成 28 年度事業報告も掲載した。

＜公募論文＞

・応募期間　　平成 29 年 4 月 15 日～9 月 30 日
・応募総数　　4 件（一般　3 件、個人研究助成受託者　1 件）
・年報審査委員会
　第 1 次選考　　平成 29 年 10 月 12 日　　当研究所にて選考会議
　第 2 次選考　　平成 29 年 12 月 6 日　　当研究所にて選考会議

＜内　容＞

・発行月　　2 月
・発行部数　　700 部
・掲載内容

巻頭論文	1 件
公募論文	2 件
研究ノート	1 件
特別寄稿	2 件

③ ニューズレター『LIBRA』第 60・61・62 号の発行

ジェンダー問題に関する識者の見解、当研究所の事業などを掲載した。

・発行月　　7 月（60 号）・11 月（61 号）・3 月（62 号）
・発行部数　　各号　1,300 部

（5）他団体との連携（共催）

① 名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリ（GRL）開館記念式典

当研究所が名古屋大学との連携事業として準備をすすめてきたＧＲＬの開館記念式典を共催で実施した。

・日　時　　平成 29 年 10 月 31 日（火）　10：30－13：00
・内　容　　式典、GRL 内覧会、レセプションパーティ
・会　場　　GRL 2F レクチャールーム、GRL 1 F ライブラリほか

・参加者　　来賓、名古屋大学関係者、当研究所役員等　約 70 名

②　GRL 開館記念国際講演会　　＊通訳あり

GRL の開館を記念して、アメリカ女性史の第一人者であり、ハーヴァード大学ラドクリフ研究所所属シュレジンガー図書館元館長であるナンシー・コット教授を招聘し、講演会を GRL と共催で開催した。

・テーマ　　「女性史の過去と未来」
・講　師　　ナンシー・コット教授（ハーヴァード大学）
・日　時　　平成 30 年 3 月 24 日（土）13：30－17：30
・会　場　　GRL　2F　レクチャールーム
・参加費　　無料
・参加者　　89 名

※開館記念国際講演会に先立ち 3 月 23 日（金）12：30－15：00　GRL2F 会議室で、講師を囲んで「シュレジンガー図書館」をテーマにセッションを開催した。参加者は、20 名であった。

③　公開セミナー　1　　＊通訳あり

国際講演会とは別のテーマで、講師と小人数の参加者とが議論できる形の公開セミナーを GRL と共催して行った。

・テーマ　　「図書館とジェンダー」
・講　師　　ナンシー・コット教授（ハーヴァード大学）
・日　時　　平成 30 年 3 月 27 日（火）13：30－16：00
・会　場　　GRL　2F　レクチャールーム
・参加費　　無料
・参加者　　27 名

④　公開セミナー　2　　＊通訳なし

公開セミナー 1 と同じ形で、テーマと日程を変えた公開セミナーを GRL と共催で行った。

・テーマ　　「結婚と家族制度」
・講　師　　ナンシー・コット教授（ハーヴァード大学）
・日　時　　平成 30 年 3 月 29 日（木）13：30－16：00
・会　場　　GRL　2F　レクチャールーム
・参加費　　無料
・参加者　　45 名

（6）ジェンダー問題に関する資料・文献の収集と提供

①　ジェンダー問題に関する図書・雑誌・資料を収集した。また、図書・雑誌等の整理を引き続き行った。

・ジェンダー問題に関する図書・雑誌の購入・寄贈　　図書 68 冊、雑誌 4 タイトル
・関係諸機関からの研究情報ニュース、研究誌（年報など）　　43 タイトル

②　名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリ（GRL）への寄贈のため研究者等からジェンダー問題に関する図書・雑誌・資料の寄贈を受けた。

また、寄贈を受けた図書・雑誌・資料の入力や整理を前年度に引き続き行った。

（7）その他当研究所の目的を達成するために必要な事業

① ジェンダー問題に関する研究会・研修等に用いるセミナー室の貸出

平成29年度利用登録　12件、年間利用件数　80件（平成28年度　111件）

② ジェンダー問題に関する会議等への出席

・GRL設立準備委員会及び運営委員会小委員会への参加

準備委員会　　5月23日（火）、6月29日（木）、8月22日（火）

小委員会　　11月24日（金）、12月20日（水）、2月21日（水）

・「名古屋市男女平等参画推進会議（イコールなごや）」への参加

平成29年6月7日（水）、平成30年1月22日（月）

・公益財団法人　あいち男女共同参画財団理事会への出席

平成29年5月31 日（水）、平成29年6月22日（木）

・「あいち女性連携フォーラム」への参加

平成30年3月9日（金）

（8）「名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリ（GRL）」への支援

① 図書・雑誌・アーカイブの寄贈

GRL の蔵書とするため、当研究所の蔵書に加え、水田珠枝顧問はじめ多くの研究者から寄贈を受けた図書、雑誌・資料（アーカイブ）をGRLに寄贈した。

図書　　8月1日に11,268冊を寄贈、以後1ヶ月ごとに寄贈を行い、3月31日現在16,666冊の図書を寄贈した。内訳は、和書11,604冊、洋書5,062冊である。

雑誌　　10月6日に161タイトルを寄贈した。内訳は、和雑誌128タイトル、洋雑誌33タイトルである。

資料（アーカイブ）　10月6日に359冊・BOXを寄贈した。内訳は、名古屋における共同保育所資料268冊、米国女性史・英国労働史関係資料および英国性差別禁止・雇用平等関係資料91BOXである。

② 運営費等の寄附

ジェンダー問題に関する研究をすすめるため、当研究所と名古屋大学の連携事業として準備をすすめ、11月1日に開館したGRLに対し、「図書及び運営費の寄附に関する合意書」（平成29年3月3日締結）に基づき、平成29年度分の運営費寄附金16,999,000円を平成29年4月7日に名古屋大学へ寄附した。

③ GRL開館記念式典・開館記念事業への参画

開館記念式典（共催）の費用の一部として、200,000円を11月24日に名古屋大学へ寄附した。また、3月に開催した開館記念国際講演会、セミナー等（共催）の開催までの準備及び役割を分担し、費用の一部154,280円を負担した。